

会 議 録	
会議名	令和6年度 第2回那覇市生涯学習推進協議会
開催日時	令和6年10月21日(月)午後1時～2時30分
出席者名	[那覇市生涯学習推進協議会委員] (会長)長濱 克実、(副会長)柴田 聡史、翁長 有希、上原 啓渡、棚野 浩、玉寄 文代 (欠席)島村 聡、松堂 美和子、山盛 淳子、与儀 実彦 [那覇市教育委員会説明者等] (生涯学習課)課長 松田信男、主幹 久場祐介、 主査 仲村美紀、主任主事 石垣真由美
議題	第3次那覇市生涯学習推進計画(素案)について
配付資料	【事前送付】 ・第3次那覇市生涯学習推進計画(素案) 【当日共有】 ・市民アンケート・パブリックコメント等について ・(別紙)会議の公開について ・那覇市生涯学習推進協議会規則
審議状況(経過、結論)以下のとおり。	

○生涯学習推進協議会委員 ●事務局

第3次那覇市生涯学習推進計画(素案)に関する質疑応答

○体裁について、太字になっている部分は重要なところなのか、また、事業の掲載順については、生涯学習課が先に来た方がよいかなと思うがどうでしょうか。

●太字については、新しい視点を盛り込んだ部分と第3次策定において大事な部分になりますが、パブリックコメントの際に太字では掲載しない予定です。事業の掲載事業については、課ごとに整理したものとなっております。

○人材育成について、例えば記載している那覇市のリスクリテラシー推進支援事業で、生涯学習課で中身まで把握してるんですか？ここに書いてるこの文面ぐらいの範囲しか把握してないという感じですか。

●文面の部分のみでの把握となっておりますが、わからないことがあれば随時、担当課に確認しています。

○この繋がりでは 13 番の給付型奨学金、大学とか書いてますけど、これって、今国がもともとやってる就学支援とか、もうかなり充実して今やってるんですね。そのあたりとまた重なるものがあるのかと思うんだけど、生涯学習課が所管ですよ、内容を教えてください。

●平成 30 年度から、那覇市が独自で始めた給付型奨学金になっておりまして、日本学生支援機構（JASSO）の給付型については令和 2 年度から実施されているものとなっております。会長がおっしゃるように重複する制度の部分があるんですけども、那覇市は併用が可能な制度のため、国で減免された部分については特にこちらから給付するものではなく、カバーできない部分についてはこちらで給付するものとなっております。例えば、国の制度で 4 分の 1 を減額した場合、4 分の 3 に係る分を那覇市が上限の範囲内で給付を行うこととしています。あと、施設費は、国の制度では給付していないものなので、こちらについては那覇市の独自の制度として、奨学金を給付しているものとなっております。

○人数制限は？

●毎年、15 名程度です。

○予算は？

●今年度で 1,500 万円程度。昨年度は 1,200 万円程度で 95%程度は執行しております。

○ちゃんと認知されているのか？

●事務局としては頑張って周知しているところです。

○私が所属する協会（沖縄県専修学校各種学校協会）で、キャリア教育支援というのがあって、今年も、単独で那覇市や浦添市の中学校に商業教育について分野ごとに約 40 何個かできますよと言って回っております。実は昨年、松島中学校 1 校だけ先に手続きがあったんですね。これ好評だったもんですから、今年早目に実は動いたんですね。そしたら、ほぼ今那覇の学校が動き始めているんですよ。要するに職業講話、体験型のをやって欲しいということに来てるんですね。ですからこのあたりが我々は協会としてこういう活動してるんですけど、この一番の目的がですね、専門学校何とかっていうのを宣伝はもう基本的になしてやってるんですね、職業の話をやりなさい、進路選択の中で、高校選びからちゃんと考えて欲しいと、この職業に行きたければどんな高校行けばいいのか。

やっぱり高校入ってのドロップアウトが多いもんですから、そういう面でその話が主であって、中学校の先生方なかなかこの職業の話がなかなかできないっていうのがあってですね。

それで、実は、これまではどっか PTA 何か動いてやったんですけど、人を集めるのもなかなか難しいということで、我々協会が、学校からいくつかも要望する分野を提供していて、もうすでに何校かこなしていて、またこれから 1 月にかけてまた計画がありますけどね、このあたりが、このキャリア教育支援について、この計画で記載しているものと何が違うのかちょっとわからないもんですから、商工農水課かもしれませんけど、この辺りって何か知ってますので、どういう活動してるかっていうのは、

○実は昨年度、曙小学校の方で、このキャリア教育、3、4 ヶ月ぐらいかけて、要は、商業、商売をやろうということで各会社を作ろうということで子供たちに会社を立ち上げさせて、そこで自分たちのアイデアをしたものを販売して、その販売した売り上げを何に使うかっていうふうな形で、銀行とか、そういった関連の方々が講師として見えて、ちょっとキャリア教育をやったんですが、その中に私たちまちづくり協議会のメンバーも関わって、一緒に学ばせてもらったんですけども、これってすごくいい環境づくりになるなと思って私は見てたんですが、それがちょうど商工農水課の方がみえて、そういうお話をされてたので、それがどういった内容の、事業だったかってのは私はわからなかったんですが、今会長がおっしゃったみたい、キャリア教育に関しての、こういった形で、子供たちに教育できるんだっていいなと感じて、そして昨年、私たちが経験させてもらった、このキャリア教育のあり方もすばらしかったなというのでちょっとここで報告させ

ていただいたんですが、その売上金をどうしたかっていうと、実は今まちづくり協議会、地域の保安灯を作ろうということで、その保安灯の一部にして欲しいということで子供たちから寄付をいただいています。そういった形で、自分たちがものづくりをして、それを販売して利益を上げて、その利益をどのような形で還元するかっていうのを、この子供たちが学んだということで、すばらしかったなというふうに思っています。はい。以上です。

○はい。何か他にまた何か。キッザニアを今やろうとしてるよね、那覇市はね。
これも多分、何か関連あるかもしれませんが、はい他に何か質問がありましたら。

○ちょっと確認、確認というか、えーとですね。

何か記載、記載の文言だけなんですけど、各基本方針推進項目個別施策の下に関連事業というふうに、あるんですけど、何か関連事業と書かれるのが、もうこれ、個別施策の１個１個ってことですよね。一つ一つがこれっていう感じですよね。並んでるのは、何か、私の感覚だけかもしれないですが、関連事業って少し何か、それと関連する参考、参考事業ですよみたいな。読み取れ方がするなと思って他のところを見ると、22 ページとか個別表になってるところは個別施策及び取り組みというふうに、書かれてるので、もしかしたら文言を統一し、個別取り組みとかした方がいいのかなというふうに感じました。ちょっと参考、参考事業みたいな、ぐらいい見え始め、ちょっと一瞬見えてしまったもので、違うんだなと後でわかったんですけど、思いました。というのが一つと、あと１点、これは、これが普通なのかなという、他の自治体とかの、ちょっと今手元で比較できないので、単純に質問なんですけど、関連の取り組みですね、取り組みで、学校教育課の取り組みって一つしかないんですね。

なんかこれって、平均的なんですかねというのがちょっと気になりました。私自身が学校教育側の取り組みに関わることが多かったりするということもあって、ちょっと気になって、学校教育課ってどういう形で関わってるのかなというのを、気になって見てみたら１個だけだったのと、もっと言うところの学校運営協議会コミュニティスクールというのはやっとな動き出したという、ところだと思うので、ということはやっとな動き出してなければ何もなかったのかなというところで、すごくこの学びというところの拠点であるというのと、子供たちの拠点でもあるし、今後はみみたいなところというところと市民の学びの拠点としても学校が、拠点となっていくのが望ましいというふうな風潮だったりするので、少しその辺りが気になったというところですよ。

これが何か、他の自治体でも、言われてみれば学校の中で、生涯学習のことって、何かできるのかなというのはいちと今イメージつかなかったのがこれが平均的な、感じなのかどうかということだけちょっと気になったのでわかれば教えてください。

●いくつかですね、県外も含めた他市の、この計画について拝見をさせていただいてるところでして、その中でいうと、比較的委員のおっしゃる様に学校教育部門に関する、その事業の件数っていうのは、比較的少ない傾向にあるかなというふうな印象を受けてます。

全体平均的に少ないかなというふうな印象がございます。

というのもやっぱり、この計画がそもそもこの学校、教育も含めですね、第3次的那覇市の教育振興計画を補完するというふうな位置付けになるっていうところが前提にありますので、その上位法の部分、上位計画の部分でですね、そこに学校教育に関するものは主に記載をされてるっていう状況でございます。ちなみに参考までに申し上げますと、今現行の第2次計画の中においては、学校教育課に関する事業っていうのが、まだ１件もない状況でございましたけれども、これからコミュニティスクールが始まるという背景も受けてですね、今回の新たな計画にはぜひ盛り込む必要があるだろうということで今回新たに追記させていただいてるという状況でございます。以上です。

○はい。何か他にもありますか。はいどうぞ。

○関連事業、おそらく取り組みというふうになると思いますけれども、そちらの整理というのは、これはもう担当課の方に照会をかけて、回答が来たものが、基本的にそのまま反映されているっていう形になりますか。というのは、これおそらくいろんなところで重複するんだらうなっていうふうに思うんです。

特にその学習機会の充実で個別の施策が、情報提供相談それからプログラムの充実っていうふうになっているので、そうすると、何らかの学習を提供するという、いわゆる講座ものとか、そういうものって、全部ここに、こう入ってきますよね。

なんか、歴史のところから、環境のところ、環境課、対策啓発事業とか、そういう啓発系のものとかも、いわゆるプログラムものとしてとらえるならば、一番最初のところにもう載せて、充実っていうふうに書いているので、こちらの件数が多分、充実したほうがいいんじゃないかなっていうふうに思うんです。どこかで再掲ってありましたよね。なので、重複するようなものでもし整理ができるのであれば再掲というような形で、このプログラムの件数学習機会提供するものの件数もそれなり、多い方が、充実しているという、計画をまさに体现するところになるのかな。

その細かい内容トピックに合わせて、後ろの方にも、盛り込めるようなものはそっちでも再掲という形にするというのもいいのかなと、読んでみると、これも学びだよね、この学習での講座だよなっていうようなところの区分けがちょっと、どっちがどっちなんだらうなっていうふうにも読めましたので、そういうのも一つのご提案ですけど。そういうような形もあり得るのかなというふうに思います。

●第3次生涯学習推進計画から、柱3の「地域特性」という観点から環境啓発や自然観察会、温暖化対策啓発について入れさせていただいています。第2次では、委員がおっしゃるプログラムの方に入っていました。

●少し補足させていただきますと、この再掲と掲載している事業というのが、今一覧で見えたと、2件ございまして、具体的には、柱2の学びと実践によるコミュニティづくりの中の総合的な学校開放推進事業というものと、校区まちづくり協議会支援事業といったものが再掲扱いとなっております。

これ再掲扱いとした背景としてですね、やはり生涯学習、学びによる自己実現っていうところもかなり大事な部分なんですけども、今回新たに加わってこのウェルビーイングといったものの考え方の中で、この個人としてのその幸福感とか、充実感の高揚といったものは大事なんだけど、その場の幸福感、場の豊かさ、地域社会のこの豊かさといったところも、このウェルビーイングを形成する上で、重要な要素であろうという考えに立ったときに、この学んだことを、その地域課題とか生活課題に、実践として生かすっていうふうな、そういう部分も大事だろうというところでですねこの柱2の、この学んだことを実践するコミュニティづくりといったようなところの話をすると、この新たな地域自治の仕組みづくりといったものが一つの要素としてあるんですけども、もともとここには、今那覇市が進めている校区まちづくり協議会支援事業といったものが入っていたんですが、この校区まちづくり協議会、那覇市の指針の中でですね、その協議会の活動拠点は、基本的に各小・中学校に設置されている地域連携室とするというような方針が示されておりました、これを受けて、この校区まちづくり協議会支援事業と、その活動拠点である総合的な学校開放推進事業といったものは、対で、掲載した方がよりメッセージとして効果的だろうというふうなことがございまして、それであえて再掲という形で載せてございます。

同じく、その下の学校、家庭、地域の連携協働についてもですね、先ほどのコミュニティスクールもありますけども、やはりその学校と家庭と地域が一体となる取り組みの中で、まちづくり協働推進課のですね、校区まちづくり協議会支援事業といったものも、欠かせない要素になってくるだろうというふうなこともありまして、課の要望もあって、再掲というふうな扱いをさせていただいています。なので委員のおっしゃるようですね、いろいろ重複する事業がございまして、我々としても、整理する中でどこのカテゴリに入れた方がいいのかなというふうなところでかなり悩みましたけども、新たな視点とかですね、こちらが訴えかけたり伝えたいメッセージといったようなところから、よりここが合致するだろうというふうなところに振り分けをさせて

いただいているという状況でございます。以上です。

○じゃあ、1時間ぐらい、あれですけどたってますけど、皆さん何かもしご意見をしなければもう、これで、はい、何かあります。

●本日、途中退席および欠席した委員からいただいた意見を共有します。

1 人目の委員の方です。

①企業や経済界との連携が意外に少ない？

たとえば、以下のような事業があってもいいのではないかと思います。

・企業に、社員の生涯学習への参加を促す施策。

例えば、一定以上の割合の社員に生涯学習に参加させた企業を奨励する施策

・企業のリスキリング講座を一般公開させる奨励施策

・Hello World という今話題のスタートアップ企業があるが、

このようなスタートアップ企業のプログラムを

市の生涯学習カリキュラムとして利用するような考え方

(勢いのある事業者を活用する、という考え方)

②市民による生涯学習参画を後押しするポイント制やマイレージの導入を検討したかどうか？

那覇市のまちづくり協働推進課は、沖縄県ユネスコ協会の SDGs パスポートを

資料ページ 14 にある那覇市人材データバンクと組み合わせて活用していて、

登録ボランティアの活動活性化に一定の成果が出ています。

SDGs パスポートは簡単に言うと地域活用のスタンプ帳なんですが、

このようなポイント制やマイレージ制度を、生涯教育全般に対して運用するとおもしろいのではないかと思います。

③柱1・推進項目(1)個別施策①の学習情報提供で、ナビゲーションはより良くてできるのではないかな？

たとえば、閲覧者のライフステージ別におすすめプログラムが見られるようにする、とか

(もしやっておられたら私の認識不足です、すいません)

2人目の委員の方です。

1 基本方針 1 協働による生涯学習のまちづくり

推進項目(1) 学習機会の充実

個別施策① 学習情報提供・相談、プログラムの充実

障がい者への対応として、サービスだけが取り上げられていますが、繁多川公民館にて真和志高校のゆい教室を卒業した重度知的障がいのある仲村伊織くんを受け入れて、本人がとても生き生きと活動している例があります。

公民館活動での積極的な障がい者の参加ができるようなアピールも必要ではないでしょうか？

1 基本方針 1 協働による生涯学習のまちづくり

推進項目(3) 多様な連携

個別施策① NPO、大学、企業等との連携

本学では地域研究所とまーいまいと毎年連携講座を開催

するように務めております。今年度は研究所副所長で国際コミュニケーション学科教授の伊藤丈志

先生が4回の講座を開催しております。できればこうした実践も掲載して頂けると弾みがつくと思います。

大学としてはいわゆる出前講座を準備しており、各所から依頼があれば応じております。行政からもそうした依頼がくるような仕組みを検討して頂ければ、さらに連携が広がるのではないかと思います。

●今ご意見いただいた地域、多様な連携というところでですね。まーいまい Naha というところは私たち生涯学習課が所管してる施設で私も直接案に関わってるところなんですけども、こちらのまーいまいができた当初、あたりからですね、やはり沖大の先生方との連携、地域共同化研究所というところが、連携ということで、実はこちらはうちの事業にはないんですね。

先ほど長濱委員長からもありましたように、うちで持ってる事業が例えば小中学校の経営教育という事業が、事業課が持ってる事業と、或いはそうでなく、ある所管と、その多様な企業との連携等によって、実際、うちの方では費用はかかっていないんですけれども実際は、逆に沖大や、それからまた専門学校連合会のからの、ある意味その活動という形での提供いただいた、こういう多様な取り組みっていうのは実際ここにはもう上がってない例も含めて本市でも、各課で様々な取り組みを行っているところです。委員のご提案にありますように、これらすべてをこの計画の中に一応1事例ではあるんですけども盛り込むことで、よりPRにはなるんですけども、じゃ、どれを取り込むかとかですね。事業の選定ですとかそういったところになりますと非常にまたボリュームも出てきます。

ただ、この多様な連携というところはページで言いますと、これは14ページになりますでしょうか。

ここも一つの一つの事業化として環境政策課が、地球温暖化対策協議会というような事業を挙げてございますけれども、様々なやっぱり事業をこうしてやってるところもありますし、ただ、あくまでもこれは一つの私たちの中の施策として出してるだけで、それ以外のものについても、やはり一体的に多様な連携をとって進めていくっていう、大きな柱、方針、これを示していくことでですね、全体を網羅していけたらなというふうに考えているところです。

○実績報告とかですね、何かの中で上がってくればいいんじゃないかっていうふうに多分思ってます。はい。よろしいですか。もう、あと何か事務局ありますか。

一応そうじゃなくてもこう、議題は、議定、第3次那覇市生涯学習推進計画の素案については以上で、よろしいですね。

以下、事務局連絡事項のため、省略。